

平成24年度

優れた教育活動表彰

1 学校（9校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
松江市立八雲小学校	神 門 三 郎	平成23年度中国地区小学校道德教育研究大会において「やわらかな心とたくましい心もち、ともに伸びようとする八雲っ子の育成」を研究主題として取り組んだ2年間の成果を発表した。自らの価値観を深めていくような対話の時間を道德の時間に取り入れ、実践した。本年度もこの成果を踏まえ、道德の時間を充実し対話を中心とした言語活動の充実をめざし取り組んでいる。
松江市立小中一貫校 八束学園	岩 田 靖	平成19年度より松江市教育委員会の「小中一貫教育推進モデル地域」の指定を受け人間関係づくりを基盤とした豊かな心と確かな学力の育成を図っている。学ぶ力の育成に向けて「小中一貫カリキュラム」を作成するとともに、小学部・中学部の教員で指導する「小中指導授業」を導入し、協働授業体制を作り上げ、小中一貫教育の先導的研究は高く評価される。
松江市立出雲郷小学校	安 田 稔	平成22・23年度文部科学省人権教育研究指定並びに県の人権・同和教育研究指定を受け「お互いの大切さを認め合い、共に学び、高め合う子どもの育成」を研究主題に人権意識の高揚を図る授業や地域、人とのふれあいを大切にした交流活動などに取り組んだ。学校、地域における意識の高まりなど成果が上がっており、今年度も人権・同和教育の一層の充実を図るため継続して取組を進めている。
浜田市立原井小学校	澤 田 出	学校図書館活用教育の取り組みを始めて3年目となる。図書館利用指導や情報活用のためのスキル学習が年間計画に位置付けられている。司書教諭と学校司書が中心となり、読書活動の充実に力を入れるとともに、子供たちの意欲的な学習、主体的な学びにつながるよう学校を挙げて取り組んでいる。平成22年度にしまね学校図書館活用コンクールで優良賞を受賞した。
益田市立高津小学校	中 村 賢 一	ふるまい向上の取り組みとして、校舎玄関であいさつ運動を2年間継続的に行っている。通学路でも地域の人が立ち児童と言葉を交わし、地域一体となってあいさつを意識している。また、グループ活動や子ども同士のかかわりを大切にした学びあう授業の実践を通して学力の向上を目指している。自主的な公開研究会を開催するなど意欲的に研究に取り組んでいる。

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
安来市立南小学校	赤 木 直 行	平成23年度島根県生活科教育研究大会において「豊かな気付きが生まれる生活科の学習」を研究主題とした取組の成果を発表した。表現活動や話し合い活動を工夫することで気付きを自覚させ、子どもの内面の思いをくみ取ることができたことなど成果が上がっている。本年度はその研究成果を活かし、表現活動を取り入れた確かな学力を育むための授業づくりに取り組んでいる。
安来市立能義小学校	山 根 正 巳	平成22年度より生活科を中心とした授業改善研究を推進し、平成23年度に第5回島根県生活科教育研究大会を開催した。特に理科との接続に焦点を当て、地域の環境を生かした体験活動の場を工夫しながら授業を進めている。平成23年度に県が行った「みんなで調べる中海流入河川調査」では優れた調査活動として県知事賞を受賞している。
津和野町立青原小学校	城 市 玲 子	特別支援教育の視点を大切にした学校経営を推進している。問題行動や不登校が懸念される際には、生徒指導、特別支援教育の両面から児童に目を向け、問題行動等の事象の背景分析に重点を置き、全教職員で対応している。平素から児童の生活環境及び内面に気を配り健全育成や諸課題の未然防止に取り組んでいる。
島根県立浜田水産高等学校	秋 好 和 則	当校は、生徒が主体となり地域貢献につながる活動や水産業の担い手育成を目指した取り組みを積極的に推進している。特に、近年は水産業を基幹産業とする浜田市や地元企業と連携し、漁業・水産加工業に即戦力として貢献できる人材育成に力を入れている。平成24年4月に農林水産省の「職と地域の『絆』づくり」の優良事例校に選定され、創意工夫にあふれた地域活性化の取組事例として紹介されている。

(注)上記の掲載順は、小・中・高等学校、かつ建制順による。

2 団体（1団体）

団体名	代表者職・氏名	表彰の理由
都万地区教育振興会	都万中学校長 片山 寛志	都万地区の教育の向上をめざして50年近く活動を続けている。平成23年度には島根県道徳教育総合支援事業に取り組み、保・小・中が連携して推進する道徳教育の在り方を示した。道徳教育の啓発・普及、人権意識や勤労観の昂揚、地域を愛する心の育成などの実践研究に継続的に取り組み成果をあげている。

3 個人（6名）

氏名	所属・職	表彰の理由
板木 恵子	出雲市立高浜小学校 教頭	特別支援教育の実践を積み重ねる中で研究をさらに深め、平成6年から5年間、出雲教育事務所の特殊教育専任教員として学校内の就学相談、各種研修会への参加助言を行ってきた。平成17年に開催の中四国特別支援教育研究大会においては、指導講師として招聘され助言をし、特別支援教育の推進に大きく貢献した。
田中 眞知子	江津市立江津中学校 栄養教諭	学校栄養職員として児童生徒の心身共に健全な育成を目指してさまざまな方向から食に関する指導に取り組んだ。給食管理をはじめ、食に関する指導を学校教育活動の中に定着させるよう努め、計画的に学校訪問を行うなど教科や学級活動を活用して指導を実施した。平成20年度からは栄養教諭として「食育」の意識を高めるよう努めている。
濱岡 律子	江津市立郷田小学校 養護教諭	養護教諭として学校保健の向上のため尽力した。豊富な経験と力量、卓越した指導力を生かし、研修会講師としても後進の育成指導や健康教育の推進に貢献している。地域や県内のリーダー的立場にあり、養護教諭の地位の向上、研究活動の推進に積極的に取り組んでいる。
林 由里	松江市立美保関中学校 事務リーダー	平成20年4月から24年3月までの4年間に島根県公立小中学校事務職員研究会の会長、副会長を務め、県内学校事務の改善、職員の資質向上に大きく貢献した。「島事研ビジョン2010」の活動指針策定に関わり学校の教育力向上を実現するための諸条件の整備というビジョン達成に向け先導的役割を果たした。これからの学校運営に必要な学校事務の確立及び発展に大きく貢献している。
福井 義信	川本町立川本中学校 事務リーダー	平成17年度から島根県公立小中学校事務職員研究会の広報部長として、年間3回の会報「爽」の発行に携わり会員と研究会双方の情報交換の役割を担った。浜田管内事務職員研究会の会長として現在の研究会の発足に尽力し、邑智郡管内の部会においても、中心的な立場で事務職員の学校運営への参画、活動の充実に貢献している。

氏 名	所属・職	表 彰 の 理 由
布 施 武 司 <small>ふせ たけし</small>	島根県立浜田商業高等 学校 教諭	<p>平成17年に当校の郷土芸能部の創部以来、顧問として生徒の石見神楽指導に力を発揮している。県内外において舞台での公演を行い全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門では2度優良賞に導いている。全国高文連等からの推薦により日本代表として大韓民国で公演するなど、日本の伝統芸能である石見神楽の文化交流に努めている。部活での指導を行うことにより地元の文化伝承にも貢献している。</p>

(注)上記の掲載順は、五十音順による。